

「絶対に、戦争は繰り返さない」 憲法 9 条生かす平和な日本を！



81年目を迎えた終戦記念日の15日、日本共産党の塩川鉄也衆院議員と梅村早江子元衆院議員は埼玉県川口、さいたま両市で宣伝し、「再び戦争を繰り返さないために、戦争する国づくりを進める政治の転換を」と呼びかけました。



(写真)訴える、(左から2人目から右へ)塩川、梅村、板橋の各氏ら＝15日、川口市

塩川氏は、高市政権のもとの大軍拡や非核三原則の見直しなどの動きを批判。「戦前から侵略戦争と植民地支配に反対を貫いてきた共産党だからこそ、市

民と力をあわせて憲法9条を生かす平和な日本をつくるために頑張ります」と訴えました。

梅村氏は、埼玉でもペンライト集会が広がり、高市政権の支

持率は下がっているとして、「総選挙からたった半年で、みんなの力が情勢を変えている。もっと声を上げよう」と呼びかけました。

訴えを聞いた30代の伊東あつこさんは「今の政権は戦争をしたがっている気がするし、やばい法案がどんどん通されて、戦前のような嫌な空気を感じます。護憲派の中でも共産党には特に共感することが多いし、国民に寄り添ってくれる。応援しています」と話しました。

川口市では来春の統一地方選挙の板橋ひろみ県議予定候補や市議・予定候補も訴えました。〔「しんぶん赤旗」8月16日付けより〕

「権利を守る事が大切」―「こども国会」岩渕議員が発言・交流

日本若者協議会による「こども国会2026」が8月4、5の両日、参院議員会館で開催され、日本共産党の岩渕友参院議員が参加しました。

「こども国会」は、「幼少期から主権者意識醸成を目指す」目的で、小中学生が国会議員に政策提言を行う場として毎年開催されています。今年は、「分断と共生」「環境と暮らし」「学校教育」の三つのテーマで、各専門家の講演を聞き、政策提言をまとめました。

岩渕氏は5日、こどもたちの政

策提言をうけ、「分断と共生」のテーマで「コンビニ、農業、建設現場など、外国人の力が無いと成り立たない状況もあります。外国人は同じ場所で生活している大切な友人。働く人の権利を守ることが大切だと思う」と語りました。

また、「環境と暮らし」のテーマで岩渕氏は、「提言されたように、断熱や公共施設にソーラーパネルの設置を進めるなどは重要です。輸入に頼る化石燃料を減らして再生可能エネルギーを増やすことが求められている」と指摘。「学

(写真) 5日、発言する岩渕議員



校教育」では、「子どもの権利条約にもとづいて一人ひとりの人権が大切にされることが大事です」と述べました。昼食時間も、参加者と懇談、交流しました。〔しんぶん赤旗8月10日付けより〕

核戦争防ぐ保証は「核廃絶」

広島国会議員討論会 田村委員長が発言



「被爆81年日本の選択を問う」をテーマにした「核兵器廃絶日本NGO連絡会」と「核兵器をなくす日本キャンペーン」主催の国会議員討論会が5日、広島市内で開かれました。被爆者や与野党10党の代表、有識者らが参加し、日本共産党から田村智子委員長が発言しました。



発言する田村智子委員長＝5日広島

田村氏は、日本政府が核抑止力強化の立場で核兵器禁止条約に背を向けていることについて「核抑止は、いざとなれば核兵器の使用を容認する立場であり、抑止の破綻という現実的な危機を見ていない」と批判。核戦争を防ぐ唯一の保証は核廃絶だとし、「日本政府は核兵器禁止条約再検討会議に少なくともオブザーバー参加すべきだ」と強く求めました。

また、国連の1号決議が原子爆弾の廃棄であったことは大きな希望だと述べ、「非核三原則の

見直しは逆流だ。それを許さず、核兵器禁止条約をつくってきた被爆者や市民社会、各国の皆さんと『核兵器のない世界』を歩めるよう全力を尽くしたい」と決意表明しました。

国連の中満泉軍縮担当上級代表は、「核兵器禁止条約の再検討会議の重要性が増している」「日本政府はオブザーバー参加を検討してほしい」と求めました。

討論会に日本原水爆被害者団体協議会の田中熙巳（てるみ）代表委員も出席しました。（「しんぶん赤旗」8月6日付けより）

「三原則」見直しの逆流に強く抗議 「高市政権の無謀な暴走止める」田村委員長



日本共産党の田村智子委員長は6日、広島市内で、記者団の質問に答え、「唯一の戦争被爆国・日本で非核三原則の見直し論などの逆流が起こっていることに強く抗議したい」と表明しました。

田村氏は、非核三原則を見直して核持ち込みを認めることは、日本がアメリカの核攻撃の拠点になることだと指摘。「少なくとも11月の核禁条約再検討会議にオブザーバー参加することが、日本のあるべき姿だ」と主張しました。

広島平和記念式典での高市早苗首相の発言について田村氏は、『堅持している』という現状を述べているだけで、今後、どうなるのかについて言及しない。国会でも、『非核三原則の見直しをしない』と明言しないのは、極めて危険だ」と指摘。

地方議会から三原則堅持を求める意見書が相次ぎ、世論調査でも圧倒的多数が堅持を求めているとして、「高市

政権の無謀な暴走を止めていきたい」と表明しました。（「しんぶん赤旗」8月7日付けより）

共産党、原爆碑に献花

献花に向かう田村智子委員長（中央）はじめ、党議員団ら＝6日広島市中区

